

# 特別セミナー

## 『地震学入門と 災害時シミュレーション』

2013年

7/5 (金)

16:30—18:30

第3講義室

(東北大学理学研究科合同 A 棟 2 階205号室)

地震の発生にはプレートが関わっていることや、地震と津波には関係があることなど、日本人の多くは現象のメカニズムを理解している。しかし被災することを想定して、具体的に備えている人はどのくらいいるだろうか。メカニズムを理解している人のごく一部だけだろう。このことは、科学コミュニケーションと災害科学コミュニケーションの相違を示している。

セミナーでは、こういったことをイタリア・ラクイラでの地震学者訴追事件やBSE問題などの過去の事例から解説する。一部をワークショップ形式で進めて行く予定である。

※東北地方太平洋沖地震や過去の地震災害の映像や写真などを使用します。報道されたものであり、特殊なものではありませんが、ご承知おきください。

このセミナーは、大学院講義「科学コミュニケーション」の一環です。

2013年度大学院講義 科学コミュニケーション

7/5 (金) 13:00~18:30 ●13:00~16:00『地震の科学の限界と情報発信』

●16:30~18:30 セミナー『地震学入門と災害時シミュレーション』  
19:00~21:00 懇親会(希望者、要申込)

7/6 (土) 9:30~12:30 ●『災害科学のコミュニケーション』

※単位取得希望で未登録の学生は、大学院教務係に相談して手続きをしてください。  
開講セミナー・単位：1 学期 1 単位、担当教員：本堂 毅



慶應義塾大学環境情報学部・准教授  
大木聖子

2001年北海道大学理学部地球惑星科学科卒業、2006年東京大学大学院理学系研究科にて博士号を取得後、カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋学研究所にて日本学術振興会海外特別研究員。2008年東京大学地震研究所助教を経て2013年4月より現職。

主な著書に『超巨大地震に迫る—日本列島で何が起きているのか』(嶺巖一起教授との共著、NHK出版新書)、『地球の声に耳をすませて』(くもん出版)など。

2012年9月『情熱大陸』(TBS)に出演。

セミナーは  
大学院生のみならず  
教職員も含めどなたでも  
ご参加いただけます。